

ドコモCSRの取り組みと ハーティ講座のご案内について

株式会社ドコモCS東海

ドコモのCSR

ドコモのCSR方針は「ドコモは教育や健康・地方創生などの社会課題について事業を通じて解決すること (Innovative docomo)、企業としての社会的責任を遂行すること (Responsible docomo) を通じて、あんしん・安全かつ快適で豊かに暮らすことができる社会を目指しています。

ドコモのCSR

CSRの考え方

ドコモは、社会的価値のある新しいサービスを創出することで、社会とともに持続的な成長・発展をめざしています。CSRは事業活動と別にあるものではなく、事業活動そのものにとらえ、社会に貢献するために新たな価値を提供していただくことを事業の根本として、2つの側面による取り組みを推進しています。1つは、教育や健康・医療、地方創生などの社会的課題に対して、「+d」による新たな価値提供を作り出す「Innovative docomo」です。社会全体がお客さまという考えの下、さまざまな分野に携わるパートナーとの協創により、「更なる価値」を提供します。お客さまに対しては「利便性、楽しさ、あんしん」を、社会に対しては「社会的課題を解決するためのサービスやソリューション」をお届けします。もう1つは企業としての社会的責任をしっかりと果たし、お客さまから信頼される企業体質をつくり上げる「Responsible docomo」です。すべての企業活動において、誠実な行動を徹底し、モバイル・IT業界のリーディングカンパニーとして社会的責任を果たしてまいります。この2つを両輪として、持続可能な社会をつくっていくことがドコモのCSRです。さまざまな課題の解決と社会全体の発展に向け、積極的に取組み、企業価値を高めてまいります。

活動を推進するうえでは、お客さまはもとより、株主・投資家、販売代理店(ドコモショップ)、お取引先、社員、地域社会など、多様なステークホルダーとの「対話」の機会を積極的に設けています。これらの機会を通して各ステークホルダーのみなさまにドコモの基本的な考えや姿勢を伝えると同時に、みなさまからいただいた声については真摯に耳を傾け、CSRに関する取組みの改善につなげていきます。

●持続可能な社会をめざす2つの側面での取組み

以下の「Innovative+Responsible=Sustainable」の図は、ドコモの事業戦略とCSR活動のつながりをわかりやすく整理し、ドコモのCSRを社会のみなさまやドコモ社員へ広くご理解いただけるよう2015年に新しく作成したものです。

社会とドコモ よりよい明日へ

国や地域、世代を超えて、人々がより安心・安全かつ快適で豊かに暮らすことができる社会、それが私たちドコモのめざす未来。よりよい明日に向け、より革新的に、より使命感をもち、ドコモは日々取り組みます。



 +  =  Sustainable

ドコモのCSR

ドコモではCSR重要課題の進捗を確認する場として年2回「CSR推進委員会」を開催しております。委員会では「地球環境保全部会」「安心・安全な社会実現部会」をはじめとする4部会でそれぞれ重要なトピックについて審議されます。

CSR推進体制

ドコモではCSRの方針や戦略の議論、国内外のトピックスの共有、CSR重要課題の進捗確認をする場として、「CSR推進委員会」を年2回開催しています。メンバーは、社長を委員長として、副社長、監査役・取締役、関連部の各部長で構成されます。CSR推進委員会は、年2回開催される「地球環境保全部会」「安心・安全な社会実現部会」「ユニバーサルデザインの推進部会」「健康経営推進部会」の上位体にあたり、それぞれの部会で審議されたCSRに関する重要なトピックに対して、活動の成果や課題、それを踏まえた今後の活動のテーマなどについて、報告・議論しています。全社およびグループ会社へ共有を図るため、CSR推進委員会後、グループ会社を含む幹部が参加する連次の会議体の場を活用し、各部のPDCAを確認し、社員への周知を図ることで機動的に運営しています。

また主要課題に関しては、各種委員会（CS推進委員会、災害対策委員会、コンプライアンス推進委員会、情報管理委員会など）を設置し、それぞれが定期的に会合を開いて体系的・網羅的なCSRを推進しています。

なお、2016年度には健康経営を推進し社員の活力・生産性を向上させるとともに、ICTを活用したヘルスケアビジネス領域の拡大を通じて、企業価値の向上につなげるため「健康経営推進部会」を新設しました。

●ドコモのCSR推進体制



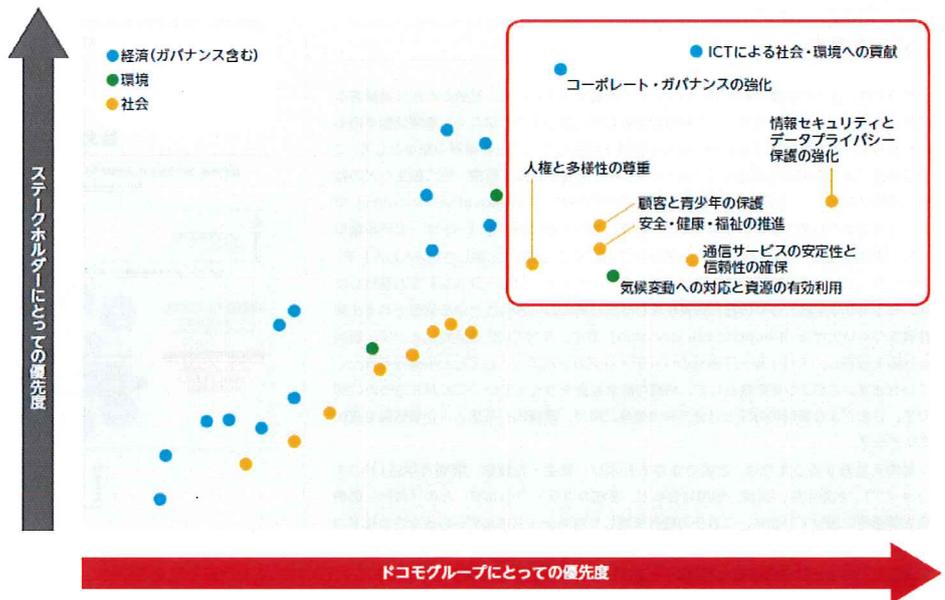
ドコモのCSR

ステークホルダーにとっての優先度とドコモにとっての優先度の観点から、8つの関連テーマをドコモグループ重点課題として特定いたしました。

●ステップ3：妥当性確認

代表取締役社長を委員長として、副社長、監査役・取締役、関連部の各部長で構成される「CSR推進委員会」を通じ、特定したCSR重点活動項目について、「ステークホルダーからの要請事項が反映されているか」「NTTドコモグループの重要な課題が網羅されているか」の観点で妥当性を確認しました。

この重要性分析の結果から、優先度の高い8つの関連テーマをドコモグループのCSR重点課題と特定しています。



ドコモは国際社会の一員として国際課題の解決においても取り組んでまいります。

- 持続可能な開発目標(SDGs)は、以下の17の目標とその目標を達成するための169のターゲットから成り立っています



- 17の目標の詳細

 http://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/15775/

ドコモ・ハーティ講座のご案内

障がいのある方へ、携帯電話やスマートフォンを活用した具体的な利用シーンなどを紹介し豊かなコミュニケーションに役立てていただくため、便利な使い方や操作を体験していただいています。また、聴覚に障がいのある方向けの講座では、手話通訳のサポートも行っています。

講座内容

視覚に障がいのある方向け

使用端末

iPhone 7、らくらくスマートフォン4、らくらくホン (F-02J)

プログラム

1 iPhone 7

パート1：スマートフォンの特徴 (10分)

パート2：音声読み上げ機能を使った実機体験 (130分) 基本操作、通話、文字入力など

パート3：スマートフォンの安全な使い方、お問い合わせ窓口のご紹介、質疑応答 (10分)

2 らくらくスマートフォン4

パート1：スマートフォンの特徴 (10分)

パート2：音声読み上げ機能を使った実機体験 (130分) 基本操作、通話、メールなど

パート3：スマートフォンの安全な使い方、お問い合わせ窓口のご紹介、質疑応答 (10分)

3 らくらくホン (F-02J)

パート1：「らくらくホン」の機能と便利な使い方のご紹介 (30分)

パート2：音声読み上げを使った実機体験 (110分) 基本操作、メール、文字入力、スケジュール、ボイスレコーダー、インターネット、災害用伝言板など

パート3：携帯電話の安全な使い方、料金やお問い合わせ窓口のご紹介、質疑応答 (10分)

※ 上記のプログラムは一例です。詳細は別途ご相談ください。



ドコモ・ハーティ講座のご案内例 (Move & Flick)

Move&Flickは、手元を見ずにメールや検索などの文字入力を簡単に行うことができるiOS向け文字入力アプリケーションです。画面を見て文字入力することが難しいと感じている視覚障がいをお持ちの方にもお勧めです。

これまでのスマホの文字入力では、まだまだ不便な場合も…

キー配列の位置が分かりづらいので、文字の押し間違えが多い…
間違えた…

公共の場では音声入力が使いづらい…
周りの目が気になる…

「あ」の位置が分かりにくい場合も

どこを押しても「あ」が打てる!
※センターエリア内

ドコモ以外でもOK
(対応機種指定あり)

お申込み：不要

月額使用料：無料



・音声読み上げに対応!

入力した文字や文章を音声で読み上げるので、間違いの少ない文字入力ができます。

ドコモ・ハーティ講座のご案内例 (便利なアプリ紹介)

目の不自由な方のために、お札識別アプリ「言う吉くん」(iPhone用)の無料配信を行っています。このアプリは、お札にカメラをかざすと、券種を識別して音声と大きな文字で金額をお知らせします。

目の不自由な方のためのお札識別アプリ

い きち
言う吉くん

お札に iPhone をかざすと
音声と大きな文字で
金額をお知らせします

月せんえん

App Store から
無料配信中

シャッター操作なし
どんなお札の向きでも OK

独立行政法人 国立印刷局 HP- お札識別アプリ「言う吉くん」より

ドコモ・ハーティ講座のご案内

講座内容

聴覚に障がいのある方向け

使用端末

iPad Air 2、iPhone 7、らくらくスマートフォン4、らくらくホン (F-02J)

プログラム

パート1：スマートフォンの特徴（10分）

パート2：実機体験（120分）基本操作、ビデオコール、地図検索、アプリのダウンロード、災害用伝言板など

パート3：スマートフォンの安全な使い方、手話でお問い合わせができる窓口のご紹介、質疑応答（20分）

※ 上記の内容は一例です。詳細は別途ご相談ください。

講座実施方法について

講座の内容は、弊社スタッフが手話通訳を行います。

▼ お申込み方法

肢体に障がいのある方向け

使用端末

iPad Air 2、iPhone 7、らくらくスマートフォン4、らくらくホン (F-02J)

プログラム

パート1：スマートフォンの特徴（10分）

パート2：実機体験（120分）基本操作、地図検索、アプリのダウンロード、災害用伝言板など

パート3：スマートフォンの安全な使い方、便利機能やお問い合わせ窓口のご紹介、質疑応答（20分）

※ 上記のプログラムは一例です。詳細は別途ご相談ください。

ドコモ・ハーティ講座のご案内

お申込み方法

専用申込用紙に必要事項を記入の上、メールにてお申込みください。
メールでのお申込みが難しい方は、お電話でも受け付けしております。
開催希望月の前々月の1日までに申込みください。

（例）開催ご希望月：7月 ⇒ お申込み締切日：5月1日

お申込みから2週間程度で事務局より内容確認のご連絡をいたします。
弊社からの日程確定のご案内にお時間をいただく場合がございます。

※ お申込み状況によっては、ご希望にそえず開催日の変更、またはお断りする場合もございます。あらかじめご了承ください。

専用申込用紙のダウンロード

📄 [NTTドコモ「ドコモ・ハーティ講座」申込用紙 \(word形式：47KB\)](#)

お申込み・お問い合わせ先

NTTドコモ『ドコモ・ハーティ講座事務局』

✉ hearty-kouza@nttdocomo.com

※ クリックするとメールソフトが起動します。

電話：0120-980-089

お電話受付時間：午前10時～午後5時（土曜・日曜・祝日・年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。）

※ 0120から始まる電話番号は通話料無料です。

※ドコモ公式HP > ホーム > 企業・IR情報 > CSR > ハーティスタイル > サービス > 障がい者サポート > ドコモ・ハーティ講座のご案内
<https://www.nttdocomo.co.jp/>

その他

開催時間など

平日午前10時～午後5時の間で1講座あたり約2時間30分が目安です。

※ 土曜・日曜・祝日の開催や講座内容・時間についてはご相談ください。

※ 事務局所在地が東京のため、開催場所によって、開催・終了時間をご相談の上、変更する場合がございます。

定員

8名～14名

※ 定員に満たない場合には、中止させていただく場合がございます。

開催場所

お客様にて会場のご準備をお願いいたします。

開催費用

教材・講師派遣の費用は一切かかりません。

※ 会場費の負担はできかねますので、あらかじめご了承ください。

ご用意いただきたい機器

マイク、スクリーン、プロジェクター

視覚に障がいのある方を対象とする講座の際は、スクリーン、プロジェクターは不要です。

※ドコモ公式HP >ホーム>企業・IR情報>CSR>ハーティスタイル>サービス>障がい者サポート>ドコモ・ハーティ講座のご案内
<https://www.nttdocomo.co.jp/>